

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 40 週 (平成 29 年 10 月 2 日～平成 29 年 10 月 8 日)

今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 3 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、梅毒 3 人、播種性クリプトコックス症 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.99 2.23 : 図 1)の定点当たり報告数は 8 月以降、緩やかな増加が続いている。保健所別では、朝霞(2.53 4.14)保健所管内で大きく増加し、川口(5.53)保健所管内からの報告が多い。**手足口病**(4.50 4.03 : 図 2)の定点当たり報告数は 35 週以降減少しているが、過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、坂戸(7.17)、朝霞(6.50)、草加(5.83)保健所管内からの報告が多い。**RS ウイルス感染症**(1.52 1.09 : 図 3)の定点当たり報告数は 5 週連続で減少したが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、幸手(3.13)保健所管内で多い状況が続いている。**咽頭結膜熱**(0.48 0.50)の定点当たり報告数は前週と同水準で推移し、過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、川口(1.65)、越谷市(1.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**(1.83 1.24 : 図 4)の定点当たり報告数は前週より減少したが、依然として過去 4 年の同時期を上回る高い水準である。保健所別では、熊谷(7.00)保健所管内からの報告が多い。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 3 人、**マイコプラズマ肺炎** 2 人、**インフルエンザ(入院)** 2 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	細菌性赤痢	1 人(病原体 <i>S. sonnei</i>)
	腸管出血性大腸菌感染症	3 人(類型 患者 3 人、血清型 O157 3 人)
四類感染症	レジオネラ症	1 人(病型 肺炎型)
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人(菌種 <i>Escherichia sp.</i>)
	後天性免疫不全症候群	1 人(病型 無症状病原体保有者)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
	梅毒	3 人(病型 早期顕症 期 1 人、早期顕症 期 2 人)
	播種性クリプトコックス症	1 人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

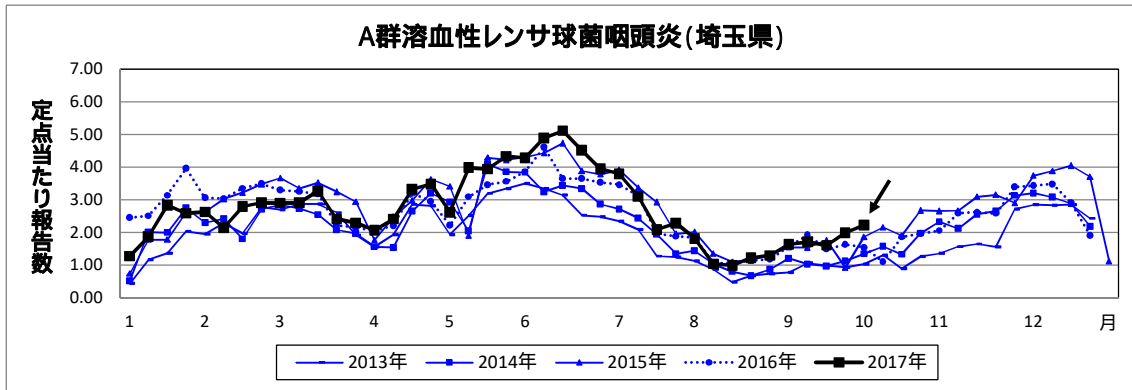


図2 手足口病

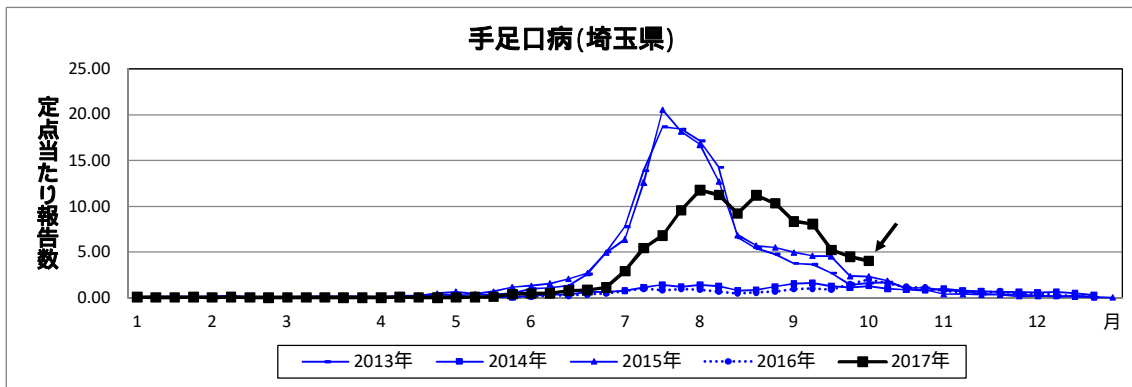


図3 RSウイルス感染症

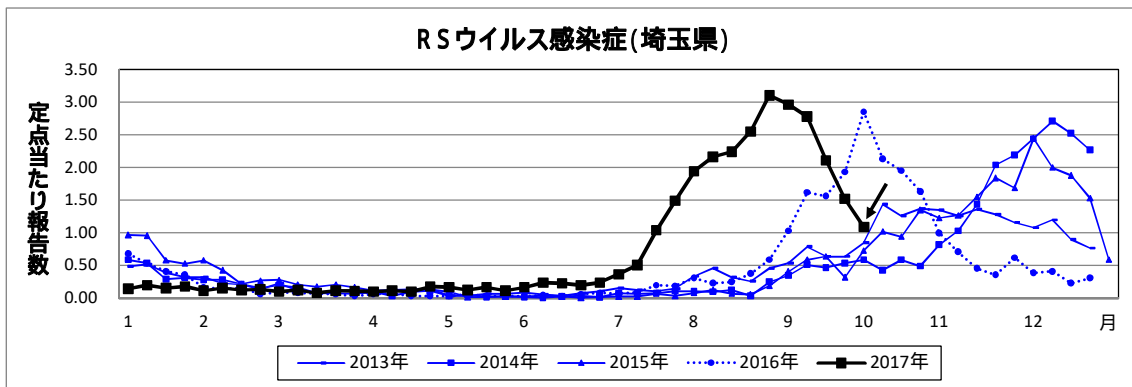
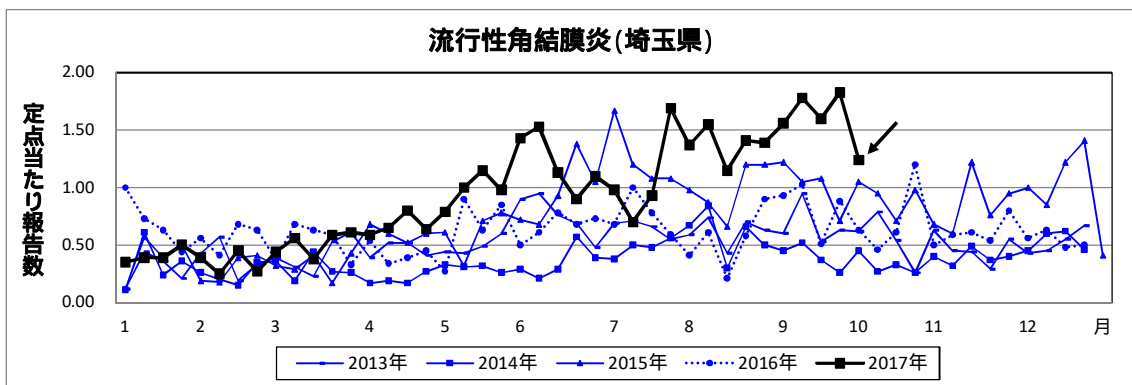


図4 流行性角結膜炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第40週)

(2017年10月10日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	1	6	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	230			
四類感染症					
E型肝炎		16	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	75
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱		9	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		42	侵襲性肺炎球菌感染症		97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘*		12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	48	先天性風しん症候群		
急性脳炎		35	梅毒	3	169
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症	1	3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		16	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	28	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		9
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	14	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	3		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第40週 平成29年10月2日～平成29年10月8日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	42	-	1	3	-	3	3	7	3	-	-	-	7	2	-	8	1	-	3	1	-
RSウイルス感染症	175	30	28	57	31	10	13	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	81	-	1	16	12	13	13	7	5	9	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	359	1	5	10	14	35	51	55	40	34	32	20	39	5	18	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	636	7	54	92	57	68	58	49	40	29	36	28	72	15	31	-	-	-	-	-	-
水痘	49	1	-	5	2	3	8	4	9	5	6	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	649	4	58	167	105	92	85	39	32	17	17	6	15	2	10	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	-	1	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	80	1	31	36	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	124	1	8	36	21	22	14	11	4	5	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	34	-	-	2	2	3	4	5	6	1	3	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	51	-	-	4	1	4	2	4	3	-	1	-	3	2	2	14	3	2	4	2	2
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 38週

(9月18日～9月24日)

平成29年10月11日

インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.02)、宮城県(0.40)、広島県(0.37)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と比較して減少し、7都県から報告があった。

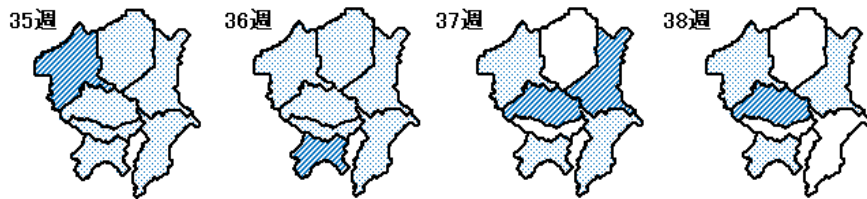
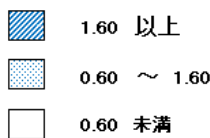
RSウイルス感染症の報告数は7,868例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.56)、鹿児島県(1.26)、鳥取県(1.21)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.16)、福岡県(2.53)、山形県(2.34)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(5.42)、岡山県(4.87)、宮崎県(4.75)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は奈良県(0.79)、長野県(0.39)、滋賀県(0.38)、沖縄県(0.38)である。手足口病の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(6.43)、福島県(6.26)、宮城県(6.19)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.59)、岩手県(0.18)、神奈川県(0.11)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.31)、岩手県(1.25)、青森県(1.19)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(2.63)、静岡県(1.10)、群馬県(1.00)、石川県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。2県から2例報告があり、年齢別では0歳(1例)、5～9歳(1例)であった。

<関東情報>

流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.60)からの報告が多い。

流行性角結膜炎



		平成29年 38週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	894	240	9	5	-	35	42	67	82
	定点当たり	0.18	0.16	0.08	0.07	-	0.14	0.20	0.16	0.25
RSウイルス感染症	報告数	7,868	1,557	126	113	150	337	208	441	182
	定点当たり	2.49	1.64	1.68	2.35	2.59	2.11	1.54	1.69	0.87
咽頭結膜熱	報告数	1,202	310	22	11	18	86	32	88	53
	定点当たり	0.38	0.33	0.29	0.23	0.31	0.54	0.24	0.34	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,784	1,246	83	24	52	257	222	318	290
	定点当たり	1.20	1.32	1.11	0.50	0.90	1.61	1.64	1.22	1.38
感染性胃腸炎	報告数	8,191	2,386	185	52	124	461	287	710	567
	定点当たり	2.60	2.52	2.47	1.08	2.14	2.88	2.13	2.72	2.70
水痘	報告数	620	178	15	4	11	41	20	43	44
	定点当たり	0.20	0.19	0.20	0.08	0.19	0.26	0.15	0.16	0.21
手足口病	報告数	8,421	4,189	482	205	96	839	586	1,075	906
	定点当たり	2.67	4.42	6.43	4.27	1.66	5.24	4.34	4.12	4.31
伝染性紅斑	報告数	116	49	3	2	3	6	3	8	24
	定点当たり	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.02	0.03	0.11
突発性発しん	報告数	1,190	384	15	17	20	72	43	124	93
	定点当たり	0.38	0.41	0.20	0.35	0.34	0.45	0.32	0.48	0.44
百日咳	報告数	22	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	0.01	-	0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数	1,759	751	57	14	34	160	143	219	124
	定点当たり	0.56	0.79	0.76	0.29	0.59	1.00	1.06	0.84	0.59
流行性耳下腺炎	報告数	974	201	14	5	19	38	30	38	57
	定点当たり	0.31	0.21	0.19	0.10	0.33	0.24	0.22	0.15	0.27
急性出血性結膜炎	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	591	204	23	4	16	64	19	15	63
	定点当たり	0.85	1.00	1.35	0.33	1.14	1.60	0.54	0.39	1.29
細菌性髄膜炎 #2	報告数	15	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	0.10	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	17	3	-	1	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.04	0.04	-	0.14	-	0.10	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	144	21	3	2	8	3	-	4	1
	定点当たり	0.30	0.26	0.23	0.29	1.00	0.30	-	0.16	0.11
クラミジア肺炎 #3	報告数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2017年9月号

2017年10月11日発行

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所及び越谷市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

7月から9月にかけてエンテロウイルス A71 が、無菌性髄膜炎 2 例 3 検体から 3 件、急性脳炎 1 例 2 検体から 2 件、手足口病 2 例 2 検体から 2 件検出されました。

細菌検出状況

平成29年9月30日現在

病原体名		分離月	7月	8月	9月	備考（9月分）
三類	赤痢菌		1		1	<i>S. flexneri</i> 2a : 1
	チフス菌		1			
	腸管出血性大腸菌 O157		16	94	22	H7 (VT1&2): 8, H7(VT2): 8 H検査中(VT1&2): 4, H検査中(VT2): 2
	腸管出血性大腸菌 O26		29	5		
	腸管出血性大腸菌その他		5	1	5	O111:H検査中(VT1): 1, O111:H - (VT1&2): 3 OUT:H検査中(VT2): 1
四類	レジオネラ菌		2			
五類	溶血性レンサ球菌（劇症型）			2		
	溶血性レンサ球菌 （溶レン菌感染症）		2	2	2	<i>Streptococcus pyogenes</i> (T1): 2
	細菌性髄膜炎			1		
	その他		2	4		

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症 平成29年 9月30日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		7月	8月	9月	累計
E型肝炎	検体数	4	9	4	39
	E型肝炎検査中	1	2		8
ウエストナイル熱	検体数	1	1		3
	ウエストナイル検査中		3		3
A型肝炎	検体数		1		5
	A型肝炎検査中		1		5
重症熱性血小板減少症候群	検体数			4	5
	SFTS検査中			2	2
	その他のウイルス	EB(2)			2
ジカウイルス感染症	検体数		1		3
	ジカ検査中				
チクングニア熱	検体数				
	チクングニア検査中				
デング熱	検体数	3	2		15
	デング検査中	2	1		11

五類感染症 平成29年 9月30日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		7月	8月	9月	累計
急性脳炎（四類以外）	検体数	32	21	17	215
	ヒトヘルペス 6	24	18	15	121
	ヒトヘルペス 7				1
	パレコ	9	6		2
	ライノ		1		15
	単純ヘルペス 1		1		2
	インフルエンザ A				1
	コクサッキー A6		2	1	3
	サイトメガロ				1
	エンテロ A71			2	2
	EB				2
	ヒトババルボ B19				2
	ムンプス				1
	ノロ				2
	ロタ (A)				1
検査中			8	8	
風しん	検体数			2	13
	風しん検査中				
その他のウイルス	エコー 9(1)			1	
麻しん	検体数	8	3		81
	麻しん検査中				14
	その他のウイルス	ヒトヘルペス 6(1)			8

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

平成29年 9月30日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	
インフルエンザ	検体数	147	121	96	110	34	8	6	3	4				529	
	インフルエンザ AH3	118	81	41	27	3	3	2	1					276	
	インフルエンザ B	20	33	48	81	23	4			1				210	
	インフルエンザ AH1pdm09	1	1	1		2		1	1	1				8	
	インフルエンザ A										2			2	
検査中															
その他のウイルス		アデノ 2(3), アデノ nt(2), コクサッキー A10(1), ライノ(3), ヒトメタニューモ(4), パラインフルエンザ 2(1), パラインフルエンザ 3(3), パラインフルエンザ 4(1), コロナ(3), ポカ(2), RS(3)													26

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

平成29年 9月30日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	
RSウイルス感染症	ウイルス	40	33	38	31	47	55	75	98	38				455	
	検体数	6	2	2	4	2	3	12	10	6				47	
咽頭結膜熱	RS	6	2	2	4	2	3	12	10	5				46	
	検査中									1				1	
	その他のウイルス	アデノ 2(1), アデノ nt(1)													2
	検体数	4	2		5	11	8	10	8	4					52
	アデノ 1				1		1	1							3
アデノ 2	2	1		3	5	5	4	1						21	
アデノ 3				1	2	1	2	3	2					11	
アデノ 4	1													1	
アデノ 5					1		1							2	
アデノ 19															
アデノ 54									2					2	
アデノ 64										1				1	
検査中										1				1	
その他のウイルス		コクサッキー A4(1), インフルエンザ AH3(1), ヒトメタニューモ(2), パラインフルエンザ 3(1), RS(1), EB(1)													7
感染性胃腸炎	検体数	12	8	19	13	14	24	9	10	7				116	
	ノロ	2	3	2		2	5	1	1	2				18	
	サボ					3	5	1						9	
	アストロ		1	1		1	3	1						7	
	ロタ (A)	3	2	9	10	1								25	
パレコ							1	1					2		
検査中									3					3	
その他のウイルス		アデノ 40/41(2), アデノ 1(2), アデノ 2(2), アデノ 31(1), サイトメガロ(1), ライノ(3)													11
手足口病	検体数		3	3		2	4	18	21	11				62	
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A6		1	2			2	11	11	4				31	
	コクサッキー A9														
	コクサッキー A10									1				1	
コクサッキー A14															
コクサッキー A16							2	2					4		
検査中										6				6	
その他のウイルス		エコー 3(1), エコー 9(1), エンテロ A71(2), パレコ(6), アデノ nt(1), サイトメガロ(1), ヒトバルボ B19(1), ライノ(1)													14
ヘルパンギーナ	検体数			2	1	3	5	9	8	2				30	
	コクサッキー A2								2					2	
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A5														
	コクサッキー A6							3	2					5	
コクサッキー A8															
コクサッキー A9															
コクサッキー A10			1				1	3	1					6	
検査中									1					1	
その他のウイルス		エンテロ nt(1), パレコ(4), ライノ(2), アデノ 1(2), アデノ 2(1), アデノ 3(2), アデノ nt(1), 単純ヘルペス 1(1), RS(1)													15
水痘	検体数				1									1	
	水痘帯状疱疹				1									1	
伝染性紅斑	検体数			1										1	
	ヒトバルボ B19			1										1	
突発性発しん	検体数		1				1	1						3	
	ヒトヘルペス 6														
流行性耳下腺炎	検体数		1			2	1			1				5	
	ムンプス									1				1	
急性出血性結膜炎	検体数				1	1								2	
	アデノ														
流行性角結膜炎	検体数				3	1	2		5	1				12	
	アデノ 3						1							1	
	アデノ 54				3				5					8	
	アデノ 56									1				1	
	アデノ 64						1							1	
無菌性髄膜炎	検体数	18	16	11	3	11	7	16	36	6				124	
	単純ヘルペス 1					1								1	
	ヒトヘルペス 7			1										7	
	水痘帯状疱疹		1	1				1	3	1				3	
	サイトメガロ		1					1						5	
	EB	1	1	1				1						5	
	エコー 3													3	
	エコー 7													2	
	エコー 9													1	
	エンテロ A71													3	
	パレコ						1	6						7	
	ライノ							1	1					2	
	ロタ (A)					1								1	
	インフルエンザ B	1												1	
	検査中										3			3	

nt : not typed

この情報についてのお問い合わせは、感染症情報センター（感染症疫学情報担当） 0493-59-9325へ

手足口病

手足口病は、夏季に流行する小児の代表的なウイルス感染症です。主にコクサッキーウイルス A 群ウイルス (CA) やエンテロウイルス (EV) A71 が原因ウイルスとなります。

2017 年は 7 月上旬から患者報告数は増加し、8 月上旬にピークを迎え、中旬以降も多い状況が続きました(図)。6 月から 9 月(第 22~39 週)に埼玉県の小児科定点から報告があった患者数は 17,121 人で、1 歳の 5,957 人が最も多く、次いで 2 歳 3,602 人、3 歳 2,084 人、1 歳未満 1,817 人、4 歳 1,401 人、5 歳 835 人の順でした。

6 月から 8 月に小児科病原体定点で採取され、埼玉県衛生研究所で検査を実施した手足口病の検体は 37 検体(5 保健所管内)でした。このうち CA をはじめとするエンテロウイルスは 30 検体(5 保健所管内)から検出され、最も多かった型は CA6 で 23 件(4 保健所管内)、次いで CA16 が 3 件、また、CA10、EVA71、エコーウイルス(E)3、E9 がそれぞれ 1 件検出されました。患者数が最も多かった 1 歳から検出されたエンテロウイルスは 11 件で、そのうち 10 件が CA6 でした(表)。

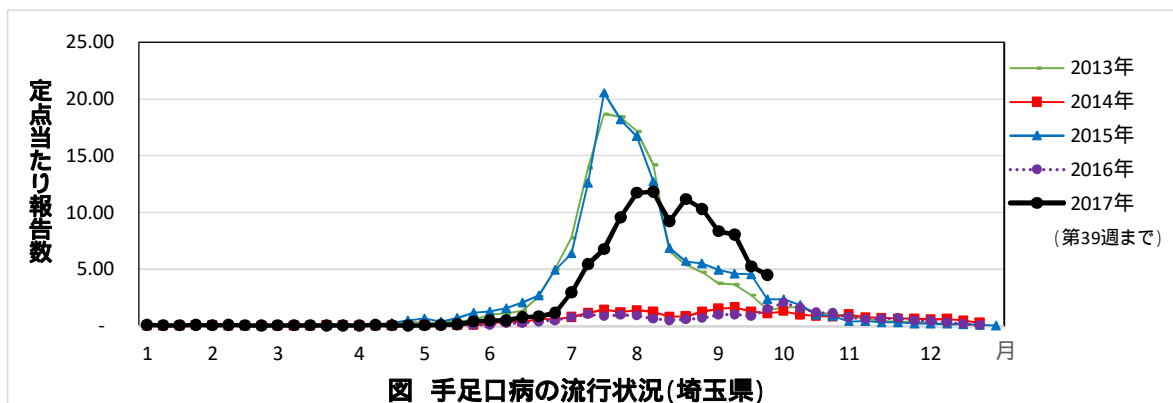


表 手足口病検体から検出されたエンテロウイルスの年齢別型別数(2017年6月~8月)

型/検体数	計	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上
CA6	23	2	10	3	2	4	2
CA10	1	0	0	0	1	0	0
CA16	3	0	1	1	1	0	0
CA以外のエンテロウイルス	3	0	0	1(E9)	0	0	2(EVA71,E3)

2017年の県内における手足口病の起因ウイルスは CA6 が主流でした。2013年、2015年、2016年にも CA6 は比較的多く検出されており、全国的にも同様の傾向がみられています。近年の CA6 による手足口病では、CA16 や EVA71 症例より水疱が大きいことや、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例(爪甲脱落症)が報告されています。(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/636-disease-based/ta/hfmd/idsc/idwr-topic/7413-idwrc-1728.html>)

定点医療機関の先生方には、流行ウイルスの把握のため、引き続き検体採取にご協力をお願いいたします。

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第40週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第37週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第38週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第39週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第40週](#)

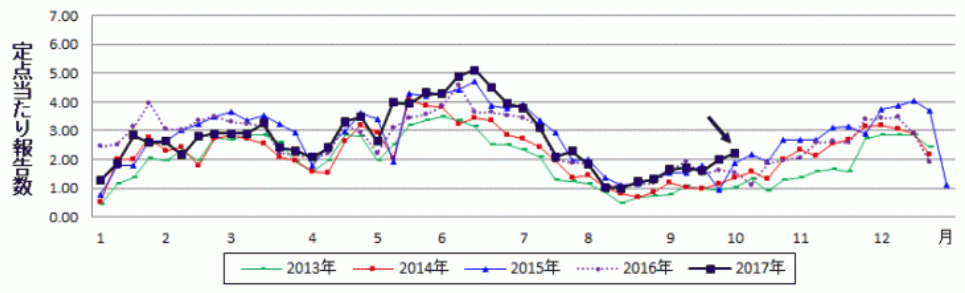
感染症の流行状況 2017年 第40週

2017年第40週 (平成29年10月2日～10月8日) の要点 平成29年10月11日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	ヘルパンギーナ	↓	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
水痘(みずぼうそう)	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★★	流行性角結膜炎	↓	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン